



令和4年2月28日
上菅田笹の丘小学校
学校だより3月号

東京2020
オリンピック・
パラリンピック
応援ありがとう



上菅田笹の丘小学校 学校教育目標
自分大好き 仲間大好き
心かがやく上菅田笹の丘小学校



飛躍の世代

校長 世古 正樹

ようやく日中の気温が高くなり、春の訪れを感じられるようになりました。明日から3月、早いもので今年度最後の月となります。

人はこの時期、たくさんの出会いや別れを繰り返し、それぞれに新しい世界へ向けて歩みを進めていきます。進級、進学、引っ越し、就職等、そこには必ず、新しい物語が生まれます。卒業式まで残り18日、6年生もこれから中学校でそれぞれの新しい物語を創っていきます。6年生は、この1年間でも上菅田笹の丘小学校で素晴らしい物語をたくさん創ってくれました。委員会活動やクラブ活動、運動会等でのリーダーシップ、大根づくりや大根販売への積極的な取組など、もてる力を十二分に発揮してくれました。その活躍と前向きな姿勢に、大きな拍手と賛辞を送ります。1年生から5年生までの子どもたちは、6年生への感謝の気持ちを伝えようと、各クラスや学年で熱心に準備をしているところです。3月18日(金)の卒業式を経て、堂々と胸を張って巣立ち、無限の可能性が広がる一人ひとりの物語をこれからも創っていつてくれることを心から願っています。

さて、振り返ると令和3年度も、多くの人との接触や教育活動が制限された1年間でした。マスクや手洗い、換気、消毒等の感染予防対策の徹底、学習活動の制限、学校行事の精選等が継続し、通常の学校生活に戻すことが難しい状況でした。しかし、「今あるもの」「今できること」から、新しい生活を創り出す発想が求められた1年でもありました。学校でも様々な発想が生まれました。タブレットを活用した授業改善、非接触な学習活動の工夫、オンラインによる他校との交流等です。子どもたち自身も、テレビ放送による集会活動の工夫、オンラインによる代表委員会の開催、生活科や総合学習における地域の方々との交流など、新しい発想で学校生活を充実させていました。このような状況で生活し、学び続けた世代は、考え方や学び方が大いに飛躍する可能性を秘めています。これまでの世代とは違った発想や価値観を育み、新しい物語を創っていつてくれることと思います。今までの形式や慣習にとらわれない自由な発想で、物事を見つめ直していくことでしょう。飛躍の世代がより豊かな活動や学びに挑戦し、自分自身の力を伸ばして学び続けていくことを、学校でも支えていきたいと思えます。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年度も様々な教育活動に対して、深いご理解と多大なるご支援ご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。令和4年度も皆様と一緒に子どもたちの健やかな成長を育んでいきたいと思えます。引き続き、どうぞよろしく願いいたします。